

感染症情報 7月15日～21日

府下小児科197医療機関(堺市19)から

①手足口病	1,591例	(堺市 123例)
②感染性胃腸炎	618例	(堺市 47例)
③溶連菌感染症	436例	(堺市 65例)
④ヘルパンギーナ	292例	(堺市 31例)
⑤RSウイルス感染症	160例	(堺市 16例)

府下306医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 121例(堺市 15例)

報告数による順位。前週比16.8%減の3,290件であった。手足口病が府下で18%減、堺市で前週175例→今回123例であった。大阪府の定点あたりは9.85→8.08、堺市で9.21→6.47であった。今週も大阪府では1ブロックを除いて警報レベル開始基準値5を超えている。感染性胃腸炎が府下で前週比13%減、堺市で前週52例→今回47例。溶連菌感染症が府下で21%減、堺市で前週77例→今回65例。ヘルパンギーナが府下で10%減、堺市で30例→31例であった。RSウイルス感染症が府下で22%減、堺市で前週13例→今回16例であった。

基幹定点だけが報告するが、マイコプラズマ肺炎が11週連続で10例を超えている。大阪府35→41例、堺市11→8例であった。

インフルエンザが府下で前週149例→今回121例で前週比19%減であった。堺市で前週16例→今回15例であった。

府下306医療機関(堺市29)から

新型コロナウイルス感染症 3,892例(堺市 428例)
大阪府定点 12.72 堺市定点 14.76

大阪府の年齢層別の報告数											
0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
136	259	233	589	399	327	395	445	314	417	378	3892

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前回2,943例→今回3,892例で32%増、定点あたり9.65→12.72。堺市で前週375例→今回428例は14%増、定点あたり12.93→14.76となり、大阪府のブロック別でワースト2であった。

麻疹や風疹の報告なし。